

令和6年度 第1回 中央区区政会議
委員から寄せられたご意見・ご質問及び区の回答等

No.	発言者	意見・質問要旨	回答者	回答要旨	区の考え方、対応方針、コメント等
1	-	-	-	-	-
グループ名	小グループでの主な意見交換内容			区の考え方、対応方針、コメント等	
まち魅力・にぎわいグループ	・万博の内容がまだ分からない時期であり、中央区としての情報発信が難しいのではないかと。万博のパビリオンの情報などが分かるようになれば盛り上がりやすくなる。 ・各団体がどのような機運醸成の活動を行うことができるかが分からない。行政が情報をとりまとめて周知してくれたら地域としても協力できると考える。 ・中央区役所主催のイベントチラシを見ても、万博機運醸成の取組をしているのが分からない。			・当区ではミyakミyakを区のイベントに出すことなどで万博の機運醸成に取り組んでいます。万博の具体的な内容が明らかになり、その内容に沿った取組ができればさらなる機運醸成を図ることができますので、今後の取り組みについて改めて考えてまいります。 ・機運醸成の活動を地域の方々に協力いただけるよう、提供できる情報について各種媒体を用いて周知できるよう努めてまいります。 ・周知内容における制約の関係で、チラシを見ても万博の機運醸成の取組をしているかわかりづらい現状があるので、今後万博推進局等と協議しながら周知方法も含めて検討してまいります。	
防災・防犯・コミュニティグループ	・水や電池といった備蓄は大切である。どのくらい必要か目で見分けるように周知していただきたい。 ・特にタワーマンションの住民に対して、防災に関する周知が不十分ではないか。 ・町会に入らないマンションの住民が多い。町会に入るノウハウを確立したり、町会に入るメリットや町会の活動について周知することが大切ではないか。			・当区ではこの間、防災に関して広報紙への掲載やマンション向けの防災講座を中心に取り組んでまいりました。継続して防災の取組を通じたコミュニティづくりに取り組んでまいります。 ・大阪市では町会加入を促進しており、当区では広報紙で町会活動について連載を始めました。文字数を少なくし、イラストを増やすなど町会活動についてわかりやすい周知を心掛けております。今後も引き続き地域の繋がりがづくりの促進に取り組んでまいります。	
福祉グループ	・災害時の自助・共助は大切だが、マンションの住民同士のコミュニケーションが少ないため近所に障がいをお持ちの方や高齢者がどのくらいいるか把握できず避難の協力が難しいと思う。 ・マンションの管理組合が災害に備えられるようにどれだけ障がいをお持ちの方や高齢者がいるか、またどのくらい備蓄を用意する必要があるのかなどが把握できるようにしてほしい。障がいをお持ちの方や高齢者がいる世帯に対してどのようなアプローチをしたら良いかわからない。			・平時には、本人同意が得られた高齢者等の要援護者を対象として、見守り活動など必要な支援を行っているところです。災害時には、この要援護者のうち避難支援の優先度の高い方の「個別避難計画」を作成できるよう取り組んでおり、作成した計画を区役所や地域の関係者に共有し、災害時に一人でも多くの命を救うことをめざしています。 ・障がいをお持ちの方や高齢者の避難支援にあたっては、個別避難計画の作成及び自主防災組織等への個人情報提供に同意いただく必要があることや地域における行事参加など日頃から顔の見える関係づくりに努めることも安否確認や避難支援を行ううえで重要な取組であることを周知・啓発してまいります。	
教育・子育てグループ	・バンジーひろばは周りの人も利用していて、そこでママ友ができて支え合うことができたと言っている。非常に良い取組だと思う。 ・未就学児の保護者が専門的な知識を持つ小学校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談できたり、未就学児の保護者が小学校に行き話をきいたりできるなど、就学前から学校と繋がることができれば良いのではないかと。 ・不登校傾向の児童生徒に対する区のサポートでは、とりえず学校に行かせようというのではなく、他の人との繋がりを持ってもらうところまでを「不登校の状態の改善」に含めているところがよい。それで70%の改善傾向は素晴らしいこと。登校させることが本当の目的ではなく、彼らが自分たちの思いや事情を周りに伝えて、課題改善していくことが非常に大事だと思う。			・バンジーひろばでは、区役所の保育士や保健師への相談に行くのはハードルが高く感じる方もおられるため、遊びを目的に来ていただいて、そこで子育ての相談をしていただけるよう取り組んでまいりました。引き続き相談しやすい場の提供に取り組んでまいります。 ・区役所では各種専門資格をもつ職員を配置し、必要に応じて就学前から保護者が学校園等に繋がるように、小学校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しサポートしています。また就学前学習会を開催し、教育委員会と連携しながら就学準備や就学後の学校生活の説明、子どもの就学に不安がある方には入学前でも早めに学校への相談を促す等も行ってまいります。今後も、よりきめ細やかな支援ができるよう取り組んでまいります。 ・当該事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により従来は少数であった不登校となる児童・生徒が増加したことから、当面の間、重点的に取り組む課題として、令和5年度から実施しています。いただいたご意見を参考に、今後も児童生徒に寄り添いながら、きめ細やかな支援を行ってまいります。	